

Japanese Utility Model Laid-Open Publication No. 50-138326

Laid-Open Date: November 14, 1975

Japanese Utility Model Application No. 49-50203

Filing Date : May 1, 1974

Inventor : Hachiro OKUBO

Applicant: Kinki Insatsu Kabushiki Kaisha

LID MEMBER ENGAGING DEVICE

A lid member engaging device of the present invention used for a top-open type box comprises a bottom sealed paper box (1) and a lid member (5) connecting to a top of a back board (7) of the paper box (1) through a folding line (8). The paper box (1) has a concave cutout part on its front board (2). The lid member (5) has three-in-a-set of skirt parts (6) arranged along outer surface of top parts of the front board and left and right side boards (3), (4) of the paper box (1). The lid member (5) also has a single line of groove parts (10) extending along front ends of inner surface of both side skirt parts. The paper box (1) has protruding portions (9), (9) which slightly protrude sidewardly in the upper part of both side of the front boards (2).

THIS PAGE BLANK (USPTO)

⑤ Int. Cl.²
B 65 D 5/18
B 65 D 5/10

⑥ 日本分類
132 C 12

⑨ 日本国特許庁
公開実用新案公報

⑩ 実開昭50-138326

庁内整理番号 7123-38

⑬ 公開 昭50(1975).11.14

審査請求 有

⑭ 蓋体係止装置

- ⑮ 実 願 昭49-50203
⑯ 出 願 昭49(1974)5月1日
⑰ 考 案 者 大久保八郎
大阪市西淀川区野里町東3の23
⑱ 出 願 人 近畿印刷株式会社
大阪市西淀川区御幣島5の12の
24
⑲ 代 理 人 弁理士 秋山鳳見 外1名

⑳ 実用新案登録請求の範囲

下端密封状紙箱1を設け、該紙箱1の前側板2、左右側板3、4の上部外面に添う一連の裾部6を

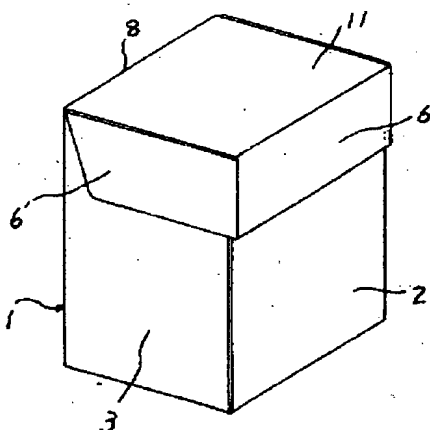
有する蓋体5を紙箱1背面板7の上端に折り目8を介して連設し、前側板2上部両側に側方へ僅かに突出する突起9、9を設け、前記蓋体5の両側裾部6'、6'内面前端に一条の溝部10、10を設けたことを特徴とする蓋体係止装置。

図面の簡単な説明

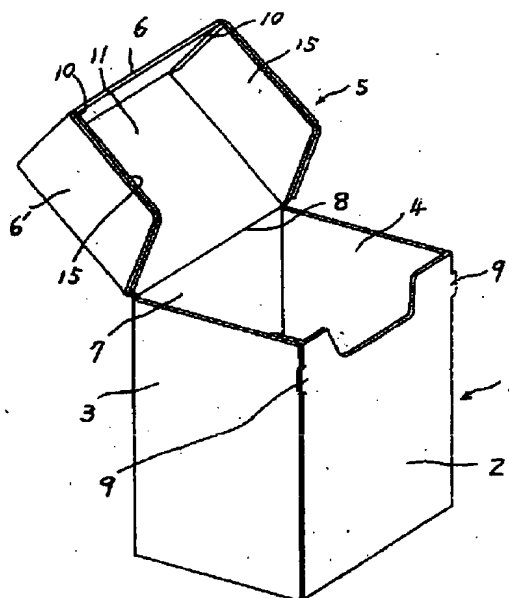
添附図面は本案実施の1例を示すものであり、第1図は施蓋時斜視図、第2図は開蓋時斜視図、第3図は展開図である。

1…下端密封状紙箱、2…前側板、3…左側板、4…右側板、5…蓋体、6…裾部、6'、6'…両側裾部、7…背面板、8…折り目、9、9…突起、10、10…溝部。

第1図

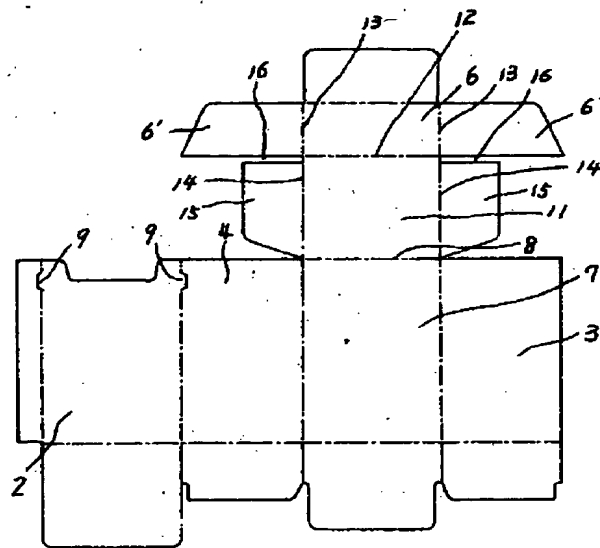


第2図

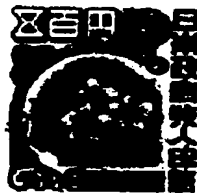


THIS PAGE BLANK (USPTO)

才3図



THIS PAGE BLANK (USPTO)



真

(1500円)

実用新案登録願 (2) 参照 5 5 1

昭和49年5月1日

特許庁長官 斎藤 英雄 殿



1. 考案の名称 ガイタイケイシノウチ
蓋体係止装置

2. 考案者
住所 ニシヨドガワクノサトチヨウヒガシ
大阪市西淀川区野里町東3の23
氏名 オオクボハチロウ
大久保 八郎

3. 出願人
住所 ニシヨドガワクミテジマ
大阪市西淀川区御幣島5丁目ノ2番24号
名称 キンキインサツ
近畿印刷株式会社

4. 代理人 シマダカツジ 取締役社長 嶋田 勝治 方式審査 (神田)

住所 ●530 大阪市北区蛸笠町16番地大江ビル 電話(06)364-8128

氏名 弁理士(3896) 秋山 鳳 (ほか1名)

5. 添附書類の目録

(1) 明細書	1通
(2) 図面	1通
(3) 委任状	1通



49 050203

6. 前記以外の代理人

住 所 ●530 大阪市北区絹笠町16番地大江ビル 電話(06)364-8128

氏 名 弁 理 士 (7003) 秋 山 泰



明 細 書

1. 考案の名称 蓋体係止装置

2. 実用新案登録請求の範囲

下端密封状紙箱 1 を該け、該紙箱 1 の前側板 2、左右側板 3、4 の上部外面に添う一連の裾部 6 を有する蓋体 5 を紙箱 1 背面板 7 の上端に折り目 8 を介して連設し、前側板 2 上部両側に側方へ僅かに突出する突起 9、9 を設け、前記蓋体 5 の両側裾部 6'、6' 内面前端に一条の溝部 10、10 を設けたことを特徴とする蓋体係止装置

3. 考案の詳細な説明

本案は、上開型箱体において紙材の有する弾性を利用し、蓋体が自然に開放しないようにする蓋体係止装置に係るもので、極めて簡易なる装置によつて充分その効果を發揮することのできる蓋体係止装置を提供することを目的とするものである。

以下に本案実施の 1 例を示した添附図面について詳説するに、1 は下端密封状紙箱であり、2 は該紙箱 1 の前側板、3、4 は同左右側板である。

5 は紙箱 1 背面板 7 の上端に折り目 8 を介して連設した蓋体で、第 3 図に示す如く前記背面板 7 の上端に折り目 8 を介して蓋板 1 1 を連設し、該蓋板 1 1 先端に折り目 1 2 を介して前側板 2 の上部外面に添う裾部 6 を連設し、該裾部 6 の両側に折り目 13、13 を介して左右側板 3、4 の上部外面に添う両側裾部 6'、6' を連設し、蓋板 1 1 左右両側に折り目 14、14 を介して両側裾部内板 15、15 を連設し、該内板 15、15 は展開時に於いて両側裾部 6'、6' 下端より僅かな間隙 16、16 を有する形態となし、該両側裾部内板 15、15 を両側裾部 6'、6' 内面に重合貼着して形成するものである。9、9 は前側板 2 と左右両側板 3、4 の連設線上に僅かに両側板 3、4 へ食い込むカギ型切り目を施することにより、第 2 図に示す如く左右側板 3、4 より僅かに側方へ突出する形態となした突起である。10、10 は蓋体 5 を形成した際に両側裾部内面前端に、両側裾部内板 15、15 の僅かな切欠部 16、16 により形成される溝部である。

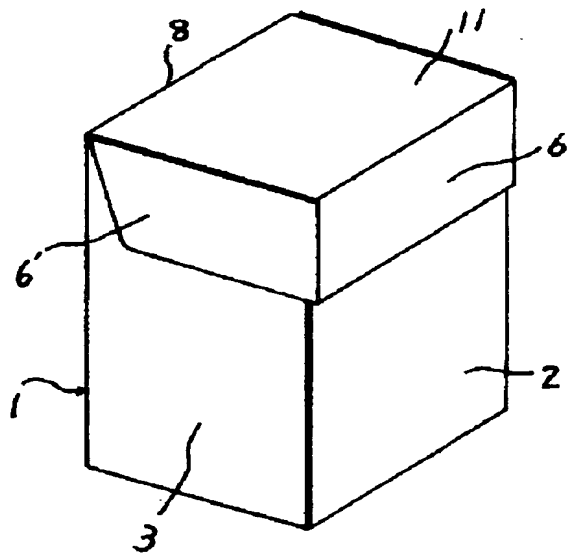
本案は以上の如き構成を有するから、施蓋時には突起 9, 9 と溝部 10, 10 とが噛合し、完全な施蓋状態が保て、開蓋にあたつても蓋体 5 を持ち上げることによつて容易に開蓋し、極めて簡易なる装置であるにもかかわらず顕著な効果を發揮し、その利用価値誠に大なるものがある。

4. 図面の簡単な説明

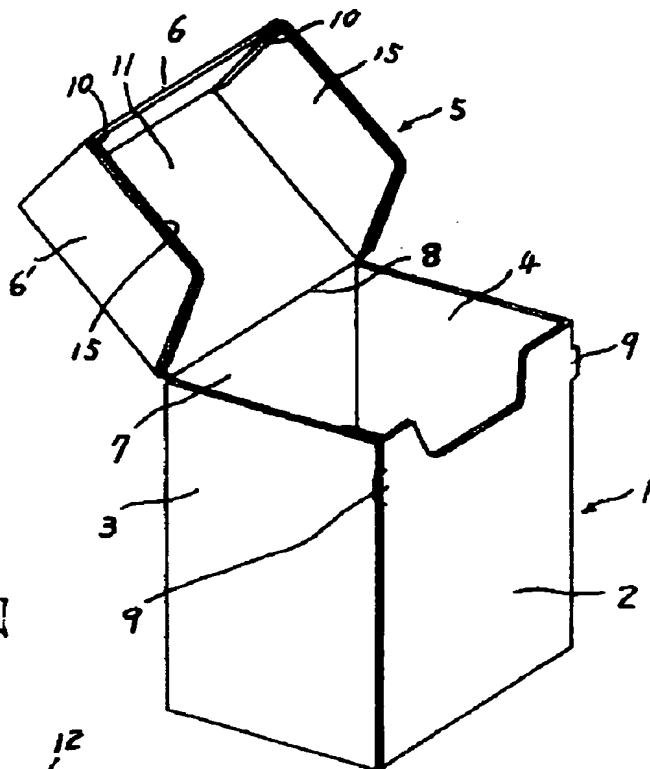
添附図面は本案実施の 1 例を示すものであり、第 1 図は施蓋時斜視図、第 2 図は開蓋時斜視図、第 3 図は展開図である。

1 … 下端密封状紙箱、2 … 前側板、3 … 左側板、
4 … 右側板、5 … 蓋体、6 … 裾部、6', 6' … 両側裾部、7 … 背面板、8 … 折り目、9, 9 … 突起、
10, 10 … 溝部

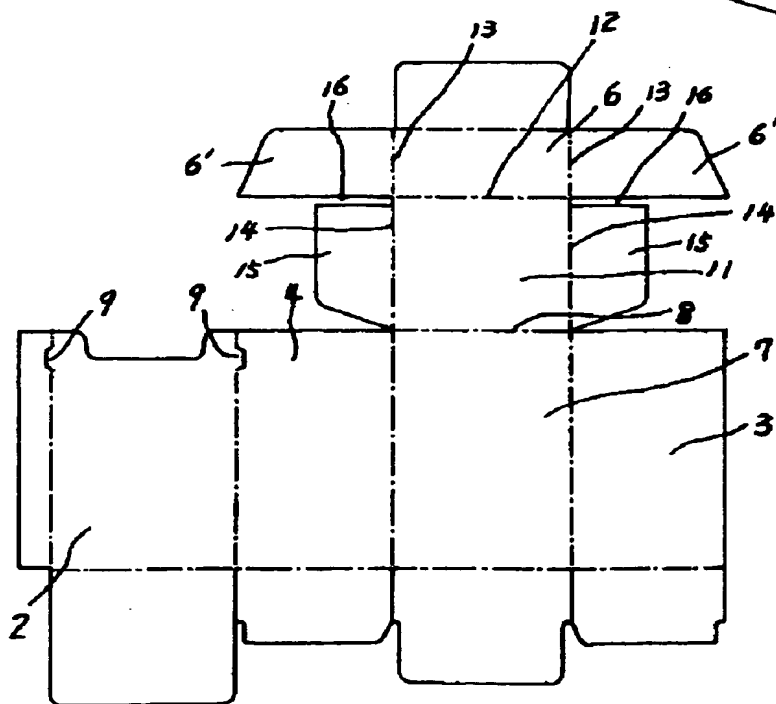
第1図



第2図



第3図



出願人 近畿印刷株式会社
代理人 紋林